

埋文やまがた



2023年9月30日
web版第13号
(第69号)



出前授業：石器で野菜切り

縄文時代の石器と同様に作った模擬石器で、野菜や雑草を切ってみます。現代の包丁と比べて使い心地はいかがでしょう？

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3246 山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地 TEL 023-672-5301 FAX 023-672-5586

ホームページ：<https://yamagatamaibun.or.jp>

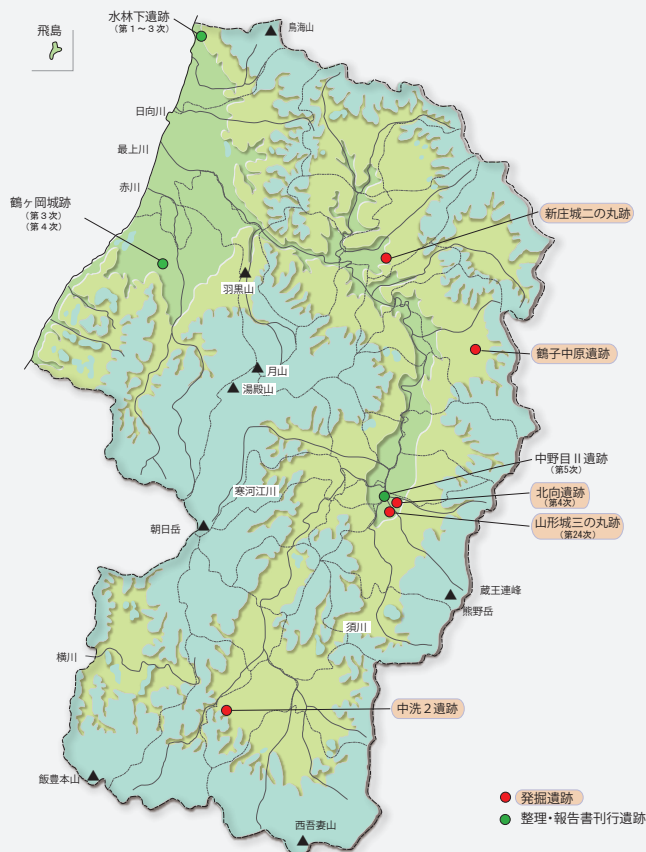
メールアドレス：yac@yamagatamaibun.or.jp

令和5年度 山形県内の発掘調査

今年度は国土交通省、山形県農林水産部、山形県県土整備部、新庄市からの委託を受け、5遺跡の発掘調査を実施しています。また、4遺跡の整理作業を行い、1遺跡の報告書を刊行します。

発掘調査事業

No.	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間
1	つるこなかはら 鶴子中原遺跡	尾花沢市	縄文	集落跡	10月3日～11月9日
2	やまがたじょうさんのまるあと 山形城三の丸跡 第24次	山形市	奈良・平安 中世・近世	集落跡 城館跡	6月6日～10月6日
3	きたむかえ 北向遺跡 第4次	山形市	奈良・平安	集落跡	4月12日～8月8日
4	なかあらい 中洗2遺跡	川西町	奈良・平安	集落跡	6月1日～9月22日
5	しんじょうじょうにのまるあと 新庄城二の丸跡	新庄市	近世	城館跡	5月15日～10月31日



整理作業

No.	遺跡名	市町村	時代区分	種別	業務内容
1	なかのめ 中野目Ⅱ遺跡	山形市	古墳・奈良・平安	集落跡	報告書作成
2	みずばやしした 水林下遺跡 第1～3次	遊佐町	旧石器・奈良・平安	集落跡	報告書作成
3	つるがおかじょうあと 鶴ヶ岡城跡 第4次	鶴岡市	中世・近世	城館跡	報告書作成
4	つるがおかじょうあと 鶴ヶ岡城跡 第3次	鶴岡市	中世・近世	城館跡	報告書作成・刊行

北向遺跡は、JR仙山線楯山駅の西、楯山小学校の南に展開する集落遺跡です。本遺跡は立谷川などがつくりだした扇状地の末端に位置し、複数の河川が氾濫を繰り返した結果、現在の地形が作り出されています。これまでに県道や市道の建設に伴い発掘調査が行われており、扇状地を下るように西へ西へと調査を進めています。今回の調査は県道の建設に伴い昨年度に実施した第3次調査に続き、道路の延長線上の西側を調査しました。

今回の調査区では、奈良・平安時代の住居と考えられる竪穴建物跡が5棟見つかりました。北向遺跡のこれまでの調査でも同じ時代の建物は多数確認されており、一定の規模をもつ集落が広がっていたと推測されます。今回の出土品に関しては今後の整理作業を待たねばなりませんが、これまでの調査では特定の身分や役職を示すものや高級品などはほとんどみられないことから、庶民的なムラといえるでしょう。山形市北部では奈良・平安時代から遺跡数が急増することから、この地域では盛んに開発が行われたことがうかがえます。本遺跡もその結果のひとつといえるでしょう。

また、これまでの調査ではほとんどみられなかった、奈良・平安時代よりも古い、縄文時代や古墳時代のものがまとまって出土しまし

た。これらの時代の住居などの建物跡は発見されませんでした。土器だけが残されていました。縄文時代のものは、同時代の終わり頃の土器（大洞A式、2500年前ごろ）がいくつか出土しています。古墳時代のものは、中期（5世紀ごろ）の土器が複数個体出土しています。これらの土器は、奈良・平安時代のものと一緒に、河川によって運ばれた土砂の中から出土しました。調査区の近くには縄文時代や古墳時代の集落もあり、それらが平安時代以降に起きた氾濫によって流されてきたのではないかと考えています。

これらの土器が出土する地層より10cm程度上に鎌倉・室町時代のお墓が作られていました。このころには河川が安定し、現在と同じような地形になっていたのかもしれませんが。



遺跡全景



奈良・平安時代の建物跡の調査風景



縄文土器（左）と古墳時代の土器（右）

令和5年度 普及啓発事業

山形県からの委託を受け、埋蔵文化財の保存と活用及び保護思想の普及啓発を図るために事業を行っています。また出土文化財及び調査記録などの活用業務も行っています。

講座

No.	事業名	期日
1	発掘体験 in 中洗2遺跡	9月2日
2	遺跡体感ツアーリズム	10月15日
3	考古学お仕事体験	11月18日
4	発掘調査速報会	3月3日

出前授業 17校 ※6ページ参照

情報の提供及び発信

- ①「遺跡・史跡パンフレット」作成
- ② SNS による普及啓発事業の情報発信

市町村巡回展

No.	展示会名	会場	期間	ギャラリートーク
1	発掘された尾花沢市の遺跡	芭蕉、清風歴史資料館	7月27日～8月29日	8月20日
2	発掘された朝日町の遺跡	エコミュージアムコアセンター創遊館	9月27日～10月22日	10月1日
3	発掘された南陽市の遺跡	結城豊太郎記念館	11月14日～1月14日	12月16日

～これからのイベント情報～

考古学お仕事体験

令和5年11月18日（土）

午前の部 9:30～11:30 午後の部 13:00～15:00

定員：各回25人 ※要申し込み・先着順

会場：山形県埋蔵文化財センター（上山市）

埋蔵文化財センターで行っている、土器や石器の整理作業を体験しませんか？
あなたも一日考古学者に！！



令和5年度 山形県発掘調査速報会

令和6年3月3日（日）13:00～16:00

会場：山形国際交流プラザ山形ビッグウィング 大会議室

令和5年度に山形県内で行われた遺跡の発掘調査の報告会を行います。ぜひ足をお運びください！



令和5年度 出前授業

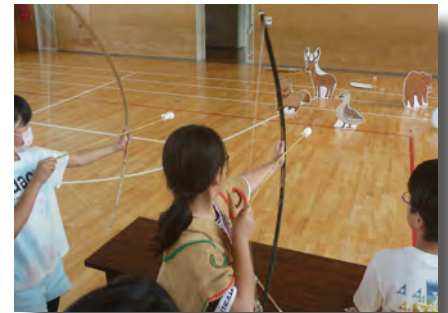
出前授業実施校

	小学校名	学年	期日
1	山形市立第六小学校	第6学年	5月16日
2	酒田市立松山小学校	第6学年	5月19日
3	山形市立蔵王第一小学校	第6学年	5月26日
4	飯豊町立第一小学校	第6学年	6月1日
5	寒河江市立醍醐小学校	第6学年	6月7日
6	米沢市立南部小学校	第6学年	6月8日
7	東根市立東郷小学校	第6学年	6月9日
8	山形市立東小学校	第6学年	6月12日
9	山形市立第八小学校	第6学年	6月13日
10	大江町立本郷東小学校	第6学年	6月15日
11	山形市立千歳小学校	第6学年	6月19日
12	山形市立第十小学校	第6学年	6月22日
13	天童市立干布小学校	第6学年	6月27日
14	米沢市立広幡小学校	第4.5.6学年	6月28日
15	米沢市立愛宕小学校	第6学年	7月5日
16	酒田市立琢成小学校	第6学年	7月6日
17	鶴岡市立黄金小学校	第6学年	8月31日

埋蔵文化財の普及啓発のため、小中学校などで出前授業を行っています。縄文時代についての講話や、様々な体験活動を行っています。出前授業を通して、より良い授業作りに貢献し、子どもたちの歴史に対する関心や理解を深める機会となることが目的です。



土器・石器をさわってみよう



弓矢体験

キャリアスタートウィーク

上山市立南中学校2年生の3名が3日間の職場体験を行いました。土器の接合や、石器の洗浄などの整理作業だけでなく、報告書などの図書の蔵書チェックや、普及啓発用の粘土細工製作などを行いました。なれない作業ですが、職員の指導を受けながら、真剣に取り組んでくれました。



発掘体験 in 中洗2遺跡 9月2日(土)



強い日差しが降り注ぐ中、川西町時田の中洗2遺跡で発掘体験を行いました。参加者24名が、移植べらや箕(土を集める道具)などの発掘用具を使って遺跡を掘りました。遺跡の周囲には古墳や古代の遺跡が点在します。体験で掘り下げた溝跡からは古墳時代の土器が出土しました。固い粘土質の土を汗をかきながら丁寧に掘り下げていきました。

事務所で発掘作業の仕方を説明



すっきり晴れた夏空の中、発掘開始です



固い粘土質の土を削るように掘っていきます



古墳時代の土器片が見つかりました!

発掘された尾花沢市の遺跡

7月27日(木)～8月29日(火)
芭蕉、清風歴史資料館

令和5年度は3市町村で市町村巡回展を行います。最初の巡回展は尾花沢市です。紅花商人鈴木清風と松尾芭蕉の資料を展示公開している芭蕉、清風歴史資料館の展示室で、尾花沢市の3遺跡の遺物を公開しました。これまで4次の調査を行っている原の内A遺跡では縄文時代中期(約4,500年前)の土器や土偶を展示し、期間中629名の来館者に見ていただくことが出来ました。8月20日(日)に開催したギャラリートークには地域の方をはじめ32名の参加者がありました。



新庄城二の丸跡 現地説明会

8月19日(土)

公立保育所整備事業に伴い発掘調査を行っている新庄城二の丸跡、調査区は米蔵があった場所です。明治以降の整地層である第1面の調査が終了し、現在行っている第2面の調査成果が公開されました。不安定な天候の中53名の参加者をむかえ、二の丸に関連する遺構や焼土遺構、廃棄された大量の瓦など、戊辰戦争に関連する遺構などが説明されました。



赤く焼けた焼土遺構



廃棄された瓦

中洗2遺跡 現地説明会

9月2日(土)

道路改築事業に伴い調査されている中洗2遺跡で行われた現地説明会には19名の参加をいただきました。古墳時代の周溝をめぐらせた住居跡や、古墳時代後期の土器などの遺物も公開されました。



出土した古墳時代の土器

秘宝館

たわらだ さいし ぼくびょう 俵田遺跡出土祭祀遺物：人面墨描土器・木製品（酒田市）

俵田遺跡は酒田市（旧八幡町）に所在し、周囲には出羽国府に関係すると考えられている遺跡が数ヶ所確認されています。昭和 53・58 年に 2 次にわたって発掘調査が行われ、8 世紀末から 11 世紀の遺構や遺物が確認されました。

注目されるのはまとめて出土した祭祀遺物です。土器の体部に 4 人の人物が描かれた人面墨描土器の他に、人形や馬形、斎串などの木製品が約 120 点出土しています。人面墨描土器は人物の他に「磯鬼坐」の墨書があり、内部に木製の祭祀具が入れた状態で出土しました。また両脇には刀形、周囲には木製祭祀具が散乱しており、祭場がほぼ原形を保った状態で残されたと考えられています。出土した状況をもとに平安時代の祭祀遺構の様子が復元されています。

当時の国家的な律令祭祀に関わる貴重な資料として平成 11 年に県指定文化財に指定されました。

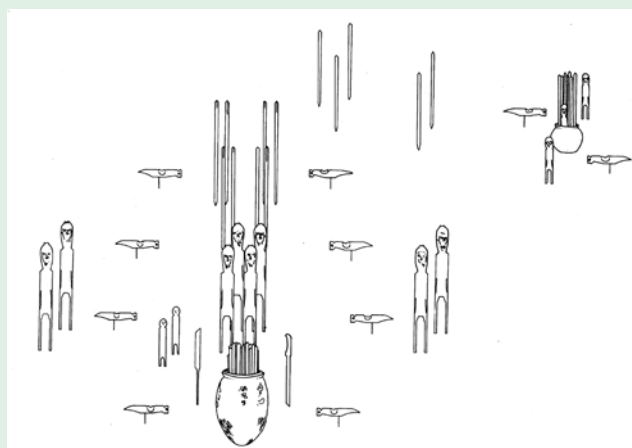


人面墨描土器

木製の人形



木製祭祀具が入った状態で出土した人面墨描土器



俵田遺跡祭祀遺構復元模式図



編集後記

年々夏の暑さが厳しくなっていますが、発掘現場でもファン付き作業着の着用がみられるようになりました。ふっくら膨らんだ姿で作業する様子に、逆に暑くないのだろうか？とヒヤヒヤしながらも、時代の進化をしみじみと感じます。炎天下の中、現場に携わる皆さんの無事を祈らずにはられません。